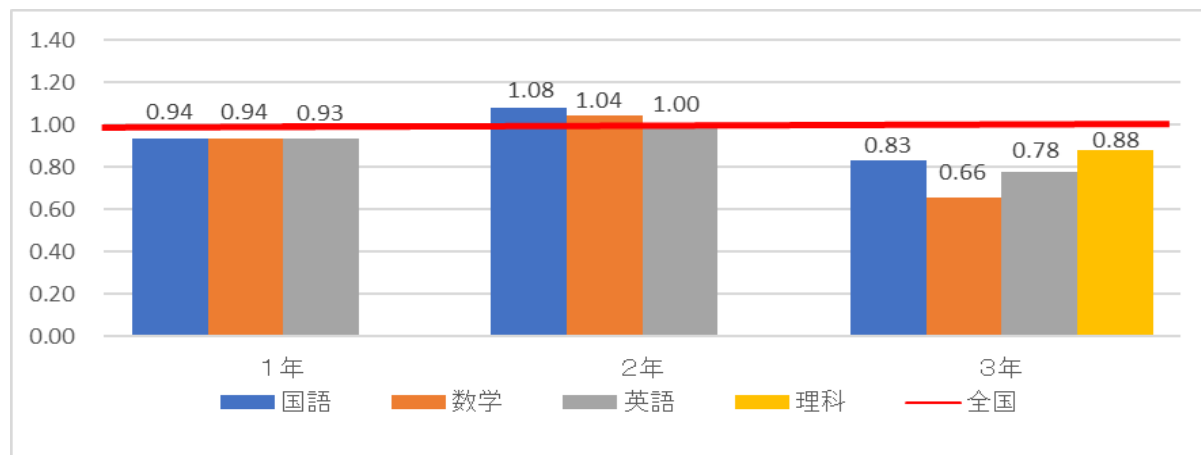


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第七中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生（国・数・英）及び中学3年生（英）は、寝屋川市学習到達度調査
中学3年生（国・数・理）は、全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「読むこと」の文章の読み取りの正確さ、「情報の扱い方に関する事項」に課題が見られる。引き続き、文章を読むことに慣れるとともに、読み取りの方法を身に付けさせ、読解力の定着を図る。
	数学	文章問題において、立式に躓き、最後まで答えを導くことに課題ある。自分の考えや、理解したことを数式で表現する学習課題を設定する授業を行う。
	英語	「読むこと」において、対話文の読み取りや内容理解は成果が見られるが、「書くこと」においては課題が見られる。自分の思いや考えを表現するために、反復しながら文法を身に付けられるよう、学びの定着をめざす学習場面を設定する。
全国学力・学習状況調査	国語	記述の問題において課題があり、無回答も多かった。自分の考えを、根拠をもって説明する学習場面を設定し、思考したことを適切に表現できる力の育成を図る。
	数学	基礎・基本の定着に課題が見られる。基礎・基本の定着から、活用課題につなげ、数式に慣れ活用できるよう授業に取り組む。
	理科	実験結果を考察し、課題解決をすることに課題が見られた。授業では課題解決に向けた実験計画や考察ができるような学習場面を設定し、思考力を養う。
	質問紙	家庭でスマホを使う時間が長く、学習時間が短いという傾向が見られた。学校生活の充実と家庭での過ごし方を結び付けながら指導していく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

学力調査から、家庭学習の改善が必要であると見取ることができた。「学習習慣の定着」と「個に応じた学習」を重点として家庭学習ノートの充実を図っていく。また、2学期に各校における実践報告と検証を校区研修会で行う。

【 学 校 】

各教科において、授業の展開を統一し、教科担当で指導方法やアイデアを共有することで、教員の授業力向上に取り組んでいる。